

～愛犬・愛猫が亡くなってしまった時の

ドライアイスの安置方法～

【取り扱い注意事項】

各部位にドライアイス添えてタオルなどを掛けてあげてください

冷えすぎたり霜がついている場合は添える場所を変えて下さい

揮発すると二酸化炭素が発生しますので適度に換気して下さい

ドライアイスは約-80℃なので絶対に素手では触らないで下さい

型	重量	総量	頭		腹		尻	切り分け
小型-1	5kg未満	2kg	1/3		1/3		1/3	3等分
		3kg	1kg		1kg		1kg	1kg × 3
小型-2	5kg～10kg	4kg	1kg		胸元	腹	1kg	1kg × 4
			1kg	1kg	1kg	1kg		
中型	10kg～20kg	6kg	頭	首元	胸元	腹	1kg × 2	1kg × 6
			1kg	1kg	1kg	1kg		
大型	20kg～30kg	8kg	頭	首元	胸元	腹	1kg × 2	1kg × 4 2kg × 2
			1kg	1kg	2kg	2kg		
超大型	30kg～40kg	10kg	頭	首元	胸元	腹	背中	1kg × 2 2kg × 4
			1kg	1kg	2kg	2kg	2kg	

用意するもの

- ・ドライアイス・タオルやガーゼ・毛布やブランケット、
- バスタオル・ペットシートやビニール袋・あれば保冷剤など

①ご遺体をきれいにする

身体の下にシートを敷いて、寝かせてやさしく身体をタオルで拭きます。ブラシ等で毛並みを整えてあげたり、口や肛門周辺はお湯で湿らせたタオルやガーゼなどで拭きとって下さい。

②ご遺体を安置する

動物にも死後硬直がありますので、硬直が始まる前に手足をたたんで身体を整え、ご遺体の大きさにちょうどいい段ボールなどにそっと寝かせてください。

③ご遺体の冷却保存

ご遺体を冷やすためのドライアイスを入れます。内臓周辺は腐敗が速く進みますので、お腹や腰を中心に置きます。ご遺体の大きさにもよりますが、気温が高い場合はお尻や首元にも置くくと安心してご遺体保存できます。